



▲甲斐町長（左）が福井事務所に要望書を提出

緑川の河川整備の促進を 国土交通省に町が堤防整備などを要望

11月29日（金）、本町を貫流する一級河川・緑川の管理を行う国土交通省熊本河川国道事務所に対して、堤防の整備などの河川整備促進について要望活動を行いました。甲斐高士町長は「緑川沿線における地域住民の安心・安全な暮らしをより一層守ることができるよう今後ともご支援ご協力をお願いいたします」と述べ、要望書を福井事務所に手渡しました。



▲認知症高齢者と出会った場面のロールプレイを行う甲佐小児童

認知症について学ぼう 認知症サポーター養成講座

11月8日（金）、甲佐小学校で特別授業「認知症サポーター養成講座」が行われました。同授業は児童が認知症を正しく理解し、支援の必要性について学び、家族や地域へ伝えてもらうことを目的として、町内の各小学生を対象に実施。甲佐小では5年生の児童たちが認知症に関する説明を受けたあと、ロールプレイやグループワークなどを行い、認知症への理解を深めました。



▲天体望遠鏡で星の観察を行う参加者

子どもたちが天体観測 乙女小学校で星の観察会を開催

12月6日（金）、乙女小学校で星の観察会が開催されました。星の観察会は、星空の観察をとおりて自然や宇宙の神秘に触れてもらうことを目的に甲佐町青少年健全育成町民会議（甲斐高士会長）と町教育委員会が実施。参加した子どもたち46人は天文家の坂本敏博さん（上田口区）の説明を聞きながら天体望遠鏡で月を観察しました。



▲陸上競技についての自身の経験や考えを話す田中希実選手

継続こそ夢への近道 田中希実選手トークショー

12月1日（日）、町生涯学習センター・ホールで田中希実選手（New Balance）のトークショーが開催されました。田中選手は継続することの大切さやパリオリンピックの振り返り、今後の展望などについて語り、町内外から集まった150人を超える参加者が田中選手の話に耳を傾けました。同イベントの最後には全員での記念撮影もあり、参加者は田中選手との交流を楽しみました。



▲町からの目録を受領した代表者の皆さん

新制度で子育て世帯を応援 「こうさっ子・子育て応援金」目録贈呈式

1月7日（火）、町生涯学習センター研修室で「こうさっ子・子育て応援金」目録贈呈式が開催されました。当応援金は、子どもたちが次のステップに上がる進学などのタイミングにおいて、満1歳児5万円、年長児5万円、小学6年生10万円、中学3年生15万円の現金を支給するもので、来年度に支給を予定している各年齢の代表者に、町長より目録が贈呈されました。

人権の理解を深める 令和6年度甲佐町「人権週間」

12月4日（水）から10日（火）にかけて、令和6年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、同実行委員会（沼田峰子委員長）、町、町教育委員会が共催。部落差別（同和問題）をはじめとするあらゆる人権問題の解決や、基本的人権の尊重、町民の人権意識の高揚を図ることを目的に、毎年実施。

期間中は、人権（法律）相談の開設、街頭や企業訪問による人権啓発広報活動の実施、書道など人権作品の展示も行われました。

12月7日（土）同週間の一環として、町生涯学習センター・ホールで第42回甲佐町人権週間町民集会在開催され、町内の児童・生徒による人権作文の発表などがありました。

同集会では、元熊本西保健センターの一歳児半・三歳児健診心理相談員の尾道幸子さんが「子どもの人権～健やかな育ちのために～」という演題で講演。尾道さんは自身の体験談などを話され、参加者は人権に関する意識を高めました。



▲「緑川の歌（川辺の四季）」を合唱する MICAさんと左座家のみなさん

美しい歌声が響く クリスマスコンサートを開催

12月14日（土）、町生涯学習センターホールでクリスマスコンサートが開催されました。CMソングなどでおなじみのシンガーソングライター・MICAさんがクリスマスメドレーや「繋がってく」などの楽曲を披露。中盤には家族コーラス「左座家」とコラボして、緑川をイメージしてつくられた「緑川の歌（川辺の四季）」を合唱するなど、心地よい歌声を響かせました。



▲（写真上）人権作文を発表する甲佐中学校の生徒
（写真下）子どもの人権について話す尾道幸子さん